

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

多治見市議会議長

様 8.2.20

第

号

令和 8 年 2 月 20 日

会派名 オールたじみ
6 番議員 氏名 成田 康弘

質問題名	学校・通学路における児童生徒の安全対策について ～見守り防犯カメラと避雷設備で安全を確保～
質問要旨	近年、登下校時の不審者情報や子どもを狙った犯罪が各地で発生しており、児童生徒の安全確保は喫緊の課題である。昨年度、経済建設常任委員会の行政視察研修で伺った兵庫県加古川市では、帰宅途中の小学生女児が殺害されるという事件が発生し、17 年以上未解決であった。このような痛ましい事件は、地域における児童・生徒・住民の安全確保の観点から、「見守り防犯カメラ」が設置され、対策強化の必要性を高めた事例と言える。人的見守りの重要性は言うまでもないが、高齢化に伴い担い手不足が進む中で、人の目を補完する仕組みづくりが求められている。 また、近年、地球温暖化の影響も指摘される中で、局地的なゲリラ豪雨や雷雨が頻発しており、学校敷地内における落雷リスクへの備えは重要性を増している。学校は児童生徒が一日の大半を過ごす場であり、ひとたび落雷が発生すれば、学校教育活動に大きな影響を及ぼすのみならず、落雷により命に関わる事例も発生している。避雷針は設置されているだけで安全が確保されるものではなく、接地性能や誘導線の劣化、接続部の腐食などにより性能が低下する可能性もあるとされている。とりわけ、体育館やプール等は、適切な避雷対策が不可欠である。 本市の 通学路及び学校周辺における「見守り防犯カメラ」や、学校内の「避雷設備」の設置状況や課題を整理し、子どもの命を守る観点から、今後の整備方針、設置・管理体制について市の考えを問う。
質問項目①	登下校時の子どもの安全確保（遠距離通学者：約 2.5 キロ 40 分以上）について、現状どのような課題があると認識しているか。
質問項目②	現在、市内に設置されている防犯カメラの設置数と、その主体（市・自治会）の内訳はどのようなになっているか。
質問項目③	岐阜県調査で、防犯カメラを設置してほしい場所に「通学路」を挙げる回答が多い。また、設置主体は「行政」と高い結果。本市として、これをどのように捉えるか。
質問項目④	近年のゲリラ豪雨や落雷の発生を踏まえ、学校施設における落雷リスクについて、どのような課題認識を持っているか。
質問項目⑤	過去に、落雷による市内小中学校で事故やケガ、電気設備・空調・通信機器等の設備被害が生じた事例はあるか。
質問項目⑥	市内の小中学校における避雷設備の設置状況について確認する。現在の基準を踏まえた避雷設備の性能に適合しているか。
質問の相手方	市長、環境文化部長、教育長